

発表 7テーマ計10チームを代表して、3つのチームから発表がありました。

地域づくり①チーム



新庄は地域への熱い想いがある人が多く、町内会行事が活発で、ご近所付き合いを大切にしたいと思っている人が多い地域性が魅力です。一方で課題としては、世代間のつながりが希薄であることなどが挙げられます。そのため、町内会活動を若い世代が参加しやすいように見直すことや、地域のリーダーを後押しすることが必要です。課題は多くありますが、現実をあまり否定的に捉えずに頑張りたいです。

教育①チーム



新庄の教育の魅力は、学生が元気で仲が良く、新庄まつりなどを通じて地域について学ぶことができていることや、魅力的な先生が多いことです。一方で課題は、先生が忙しすぎるために地域に出て住民と交流する時間がないことです。そのため今後は先生の増員や一人当たりの負担を減らすこと、すべての先生が学生と地域をつなぐ窓口になるということを目指していきたいという話が挙がりました。

産業①チーム



新庄は「ブルーオーシャン」と言われる未開拓な市場が多く、様々な可能性を秘めていると考えます。近年はIT分野の仕事が増えています。新庄にはそれらの知識にうとい人が多いことも課題です。そのため、それらの能力の向上を目指せば、主力産業である農業×ITなどで新しい産業を見だしていけるのではないかと考えました。これから先、新庄は楽しいことしかない！

第3回ワークショップを終えて

講評 醍醐孝典さん



新庄のワークショップでは大量の付箋が名物になってきており、素晴らしいと思います。今回のワークでは、テーマごとの将来像まで議論するには時間が足りなかった部分もあると思いますが、おおむねチームごとに目指すべき方向性が見えてきたのではないのでしょうか。また、今日のもう1つの目標であったチームづくりに関しても、マシュマロチャレンジや白熱した議論を通してチーム力が高まってきたように思います。次回からはチームご

とに活動アイデアを考えていきますが、その際に大事になるのが事例調べです。アイデアは空から降ってくるのではなく、知識の蓄積から生まれていきます。ですから皆さんにはテーマごとに、市民が主体となっているおもしろい取り組みや、市民と行政が協働しているような魅力的な事例をいくつかインプットしてきて欲しいと思います。今回はみなさんが調べてきた事例をもとに、より白熱した創造的なワークショップにしていきたいと思います。

【次回(7/31)までの課題】

各テーマごとに、市民が主体となっていたり、市民と行政が協働して行っている取り組みの事例を調べてきましょう！(最低1つ以上)

事例調べのヒントに...

- WEB 「greenz.jp」 <https://greenz.jp>
「マチノコト」 <http://machinokoto.net>
- 雑誌 「ソトコト」 PR社
「TURNS」 第一プログレス社
- 書籍 「日本のシビックエコノミー 私たちが小さな経済を生み出す方法」 フィツムアート社

参加者の感想 (アンケートより抜粋)

楽しかった！次回も楽しみ / 新庄の未来を良くしようというみんなの想いに感動し、「新庄の未来は明るい」と思った / ワークショップの手法も徐々に分かるようになってきたので、次回のアイデア発想も頑張りたい / 語り合うことで色々なアイデアが出て可能性を感じた / このワークショップに参加すると元気が出る / 新庄の産業について様々な角度から考えられた / 教育の本質とは何かを改めて考えることができた / 発表時にうまく話せるようになりたい / 次回までの宿題である他地域の事例をいくつか調べられるか楽しみ / ワークの時間が足りない

ご案内

- 「第4回新庄未来ワークショップ」 日時：2019年7月31日(水) 18:30~20:45 場所：新庄市民プラザ
- 「第5回新庄未来ワークショップ」 日時：2019年8月7日(水) 18:30~20:45 場所：新庄市民プラザ

お問い合わせ
新庄市総合政策課 企画政策室
tel.0233-22-2115

新庄未来ワークショップ

2019年6月19日(水) 18:30~20:45
新庄市民プラザ 1階大ホール



Vol.3

第2回の振り返り



studio-L 昆野哲さん

第2回のワークショップでは、アドバイザーの醍醐さんより「市民が市のビジョンを描くことの意義」と題して、これからの時代のまちづくりでは市民と行政の協働が不可欠であることや、『バックキャストिंग』という思考法についてお話を聞きました。その後はチームごとに新庄市全体の理想の将来像を話し合い、キャッチコピーにまとめました。ラップ調にまとめるチームや造語をつくったチームなど、新庄ならではのクリエイティブな話し合いがされました。今日のワークショップからはこれまでの意見や市の行政課題をもとに分類した7つのテーマに分かれて、それぞれの分野の魅力や課題、将来像を話し合っていきます。最終的なゴールとして第6回にはチームごとの発表会も企画しておりますので、今日も楽しんでいきましょう！

プログラム

- 開会、あいさつ
- 第2回の振り返り
- テーマによるチーム分けについて
- テーブル内自己紹介
- ワーク①「マシュマロチャレンジ」
- ワーク②「テーマごとの現状と目標を考える」
- 発表、講評
- 閉会

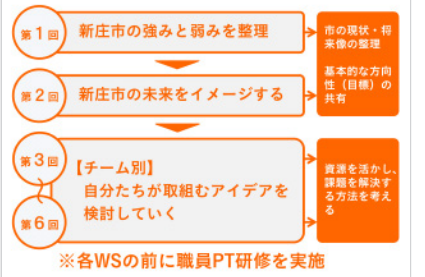
このワークショップの進め方

新庄未来ワークショップは全6回で構成されており、第2回までは新庄市の現状や将来像を整理し、基本的な方向性(目標)をまとめていきました。第3回からは参加者が興味のあるテーマごとのチームに分かれて、新庄市の資源を活かし、課題を解決していくような具体的なアイデアを創出していきます。

今後のスケジュール

- 第1回：4月24日(水)
- 第2回：5月22日(水)
- 第3回：6月19日(水) 本日!
- 第4回：7月31日(水)
- 第5回：8月7日(水)
- 第6回：9月11日(水)

市民ワークショップの流れ(想定)



「テーマごとのチームに分かれて、現状や将来像を考えよう！」

第1回～第2回のワークショップで出た意見や市の行政課題をもとに、7つのテーマを設定しました。今後はテーマごとのチームに分かれて、各テーマの魅力や課題、将来像を共有しながら、その課題を解決するような具体的なアイデアを創出していきます。

テーマによるチーム分けについて

チーム分けのテーマは、これまでのワークショップでの意見や市の行政課題をもとに、「子育て」「教育」「生涯学習」「福祉」「産業」「暮らし・生活」「地域づくり」の7つを設定しました。それぞれのテーマは重なり合う部分もあると思いますので、はっきりと分類するのは難しいですが、このテーマをスタートラインと捉え、今日のワークを通してよりチームのテーマ設定を明確にできたらと考えています。

年齢や性別、興味や専門性の違い、住んでいる地域など、ワークショップでのチームには多様性が大切です。参加者の中には普段から専門性を持ち活動されている方もいると思いますが、普段の専門性とは違うテーマで新しい気づきや学びを得られるチャンスでもあります。そのような点も意識すると、より創造的なワークショップに繋がると思います。



総合政策課
企画政策室
齋藤正崇さん



アドバイザー
醍醐孝典さん

自己紹介

チームに分かれて、名前、所属、特技などを紹介し合いました。



ワーク① マシュマロチャレンジ

マシュマロチャレンジは、制限時間内にパスタや紐を使って出来るだけ高い塔を建て、マシュマロを塔の上に乗せてその高さを競うゲームです。世界大会が開かれるほどの有名なゲームで、チームの団結力を高めるために行いました。

ゲームの講評

ゲームを通してチームメンバーの人となりが見えたのではないのでしょうか。指示が得意な人やまずは手を動かしてみる人、作戦から練る人、いろんな人がいて良いと思いますし、その個性を組み合わせれば、きっとこれから楽しくて素晴らしい取り組みが生まれてくるでしょう。

アドバイザー
醍醐孝典さん



ワーク② テーマごとの現状と目標を考える

テーマごとのチームに分かれて、そのテーマに対する魅力や課題、将来像について話し合いました。

子育て

魅力
集いの場所があり、母親同士のつながりがある/自然が多く子育て環境が良い/雪で遊べる/公園が多い/待機児童が少ない

課題
子育て中の引きこもり/8ヶ月未満児の保育環境/休みを取りにくい職場環境/父親のつながりが少ない/産婦人科が少ない

将来像
先輩ママと新米ママのマッチング/子育て相談所/子育て情報の共有/産婦人科の新設/職場も子どもを育てるような環境

福祉

魅力
顔が見える近所との関係性/思いやりがあり素直で明るい人柄/自治会など活動が活発/介護施設が多い

課題
一人暮らしのお年寄りが心配/つながりの希薄化/福祉業界の人手不足/障がい者への理解とサポート体制

将来像
地域での助け合える関係性/こころのバリアフリー/一人一人の幸せのかたちを尊重できる/若い世代が積極的に福祉に携わる

教育①

魅力
学生同士の仲が良い/じめじめが少ない/学校図書書の充実/学校の新設/魅力的な先生が多い/祭りを通して地域について学べる

課題
学生が忙しい/不登校児の増加/高等教育機関が少ない/先生が忙しく、地域との関わりを持つ時間が少ない

将来像
一人一人の個性がいきいきと育つまち/教員の負担の軽減/すべての先生が学校と地域を結ぶ架け橋になる

教育②

魅力
学校と地域がつながっている/課題解決学習/最上の高校生の集落地/学生の意見を否定しない大人が多い/図書館等の充実

課題
お金にふれる教育がない/多様な学びを提供/本屋などが少ない/学ぶ楽しさを知る学生が少ない/施設の老朽化

将来像
新鮮なワクワクから始まる学び/より良く生きるために教育は地域づくりの基盤/魅力的な人材をいかに育てるか

産業①

魅力
一次産業が活発/様々なイベントがある/マニアックな人が多い/ブルーオーシャン(各分野未開発で可能性を秘めている)

課題
名物の知名度が低い/おしゃれなカフェが少ない/商店街が寂しい/人手不足/給料が安い/国際化に対応している人が少ない

将来像
新たな産業を生み出す/産業×IoT/ITの仕事に力を入れる/オタク食堂/e-スポーツ/底上げ

産業②

魅力
新庄まつり/食べ物が美味しい/自然が豊か/災害が少ない/新幹線が通っていて交通の便が良い/ものづくりの技術が高い

課題
目玉となる観光がない/資金集めが難しい/宿泊施設が少ない/耕作放棄地/賃金の低さ/生産年齢人口の減少

将来像
あえて何も開発しない/小学校の授業で産業を必須にする/魅力の発信/雪対策技術の開発

地域づくり①

魅力
地域への熱い想いのある人が多い/新庄未来ワークショップへの参加者が多い/趣味でのつながり/不便だからこその良さ

課題
地域への想いをカタチにするのが難しい/世代間のつながりが薄い/マンパワー不足/独居老人の増加/新参者の疎外感

将来像
若者が集まるまち/交流人口の増加/既成の価値観を変える/だれも置き去りにしないまちづくり/現実を否定的に捉えない

地域づくり②

魅力
雪が多い/明るく素直な人柄/一体感を感じる人口規模/女性のパワー/自ら楽しさを生み出そうとしている人がいる

課題
免許返納後の交通手段/若い世代は生活することで精一杯/町内役員に女性が少ない/消防団などの人手不足/雪対策

将来像
地域や家族に感謝し誇りがもてるまち/担い手の育成/女性が活動しやすいムードづくり/町内外の交流の推進

暮らし・生活

魅力
新幹線や車など交通の便が良い/伝統文化が残っている/温厚な人柄/大きな災害が少ない/森林資源が豊富/農林大学がある

課題
車社会/公共交通が少ない/よそ者に対して厳しい/働く場が少ない/若者の流出/空き家の増加/除雪・排雪が大変

将来像
残りたいと思えるまち/車の免許がなくても市内を自由に移動できる/頑張らなくて除雪しなくても良い生活/自然エネルギー活用

生涯学習

魅力
文化施設や体育施設が多い/幅広い年代が活動している/多様性がある/美術館や映画館がないので催しへの興味がある

課題
サークルなどに参加しにくい/同じ世代のみで集まりがち/仕事が忙しく参加できない/そもそも生涯学習とは何か?

将来像
施設のあたらしい活用方法/特技を持つ高齢者が活動できる/参加しやすい雰囲気づくり/子どもと大人が共に学び合う

